

# 大城ひかるのベトナムム



## 通信

シンチャオ  
(Xin chào)  
おきなわ

ホーチミンという地名にピンと来ない日本の年配の方が時々いらつしゃるのですが、「昔のサイゴンですよ」と言い換えると、たいてい分かつてもらえます。恐らくベトナム戦争のニュースをリアルタイムで聞いていたからなのでしょう。60年



この日はあいにくの曇り。晴れた日には緑の芝生と噴水が美しい統一会堂の正面（筆者撮影）

代、70年代ベトナムは日本人の記憶に強く残っているようです。実はベトナム人でもサイゴンを好む人がいます。旅行先でホーチミンから来たと言っているのに、「ああ、サイゴン」と言われますし、中華系ベトナム人の元同僚は、はつきり「ホーチミンよりサイゴンが好き」と言っていました。店名や製品名にもサイゴンはよく使われており、古き良き時代を思い出させる響きがサイゴンにはあるようです。

## 統一会堂からサイゴンを見る

光客だけでなく、ウエディング用の記念撮影スポットとしてベトナム人にも人気です。コロナル建築もいいのですが、私のお勧めはベトナムにおけるモダンイズム建築の最高峰とも言われる統一会堂。実はホーチミンに4年も住みながら、ここには一度も行ったことがありませんでした。サイゴン陥落の舞台となった場所なので、どうしても、ふらりと行ってみる気にはならなかったのです。



75年当時のまま保存されている内閣会議室（筆者撮影）

それを聞いたベトナム人同僚が日本人教員のため、統一会堂を主にしたホーチミンシティーツアーを企画してくれました。まず、彼女が「ホーチミンで一番おいしい」という3区のフォーの店で朝7時に朝食を取り、その後、統一会堂まで徒歩で移動。見学後は付近を散策して、ピンクの教会で有名なタンディン教会近くの「大きいエビが入っている」バインセオ店で昼食。それから水上バスでサイゴン川を遊覧し、おやつにココナツアイスクリーム。その後は1区より日本語の本が充実しているというフーニャン区の古本通りをぶらつく計画でした。

しかし思いのほか、統一会堂は見どころ満載で、地下の司令部から屋上のヘリポートまで、見学に3時間もかかつてしまいました。内閣会議室や宴会場、機密会議室など、部屋がいくつあるのか分からないほどです。

この場所にはかつてノロドン宮殿と呼ばれるコロナル建築がありました。だが、共和国時代の1962年にクーデターにより崩壊。南ベトナムの建築家ゴー・ヴィエット・チエウの設計により66年に建て替えられたそうです。内部は75年当時のまま。懐かしい感じを受けました。沖縄建設新聞の読者の皆さまにはめったなことを言えませんが、ぜひ見ていただきたいものです。

別棟の資料館では、かつてのサイゴンの街づくりを紹介しており、路面電車の映像などこれも必見。大統領一族による腐敗や秘密結社の話など背筋が凍る話なども満載です。サイゴンという響きの中にある光と影を感じながら、私たちはバインセオの店に向かったのです。